

教員について	
教員名	深澤 真 (FUKAZAWA Makoto)
職名	准教授
担当教科と分野	英語 英語教育
研究分野	テストニング、評価
担当授業	英語科教育法 B と C、英語評価法演習、大学英語、TOEIC 演習、英語教育の理論と実践の高度化（教職大学院）など
授業についての一言	日本の英語教育は、大きな変革期にあります。英語教育の理論を参考にしながら、模擬授業を行ったりグループ活動やディスカッションを通して、コミュニケーション能力の育成を意図した生徒中心の授業となるよう実践力を高めたいと思います。また、指導だけでなく、適切な評価方法を学ぶことで、将来教育現場において生徒の更なる学習や教員のより良い指導につなげて欲しいと思います。



授業の様子（英語科教育法 B）



研究の内容

英語教育におけるテストニングや評価の研究をしています。特に、スピーキングの評価に興味があります。コミュニケーション能力の育成が求められる現在の英語教育で、一人でメッセージを伝える「発表」や二人以上で伝え合う「やり取り」の評価は指導と同様に重要です。それらを適切に、一貫して評価する方法を研究することにより、スピーキング能力の適切な評価やさらなるスピーキング力の向上につなげることができればと考えています。

研究のキーワード：評価、テストニング、スピーキング、入試、フィードバック など

深澤ゼミ

卒業研究では、評価やスピーキングばかりでなく英語教育全般について指導を行っています。深澤ゼミでは、ディスカッションやフィードバックを通して各自の研究テーマについてのアプローチを考え、研究を進めていきます。以下は卒業研究の例です。

- ・オンライン授業における英語で話すことへの大学生の抵抗感—対面授業との情意面の比較に焦点を当てて
- ・新学習指導要領施行前後における「やり取り」の授業実態と教員意識の変化
- ・小学校外国語教科書の活動における TBLT によるタスク性の分析—動機付けの観点から—
- ・英文読解におけるリテリングの効果—高校生学習者の主体性と理解度に焦点を当てて—

